施策評価シート

施策	30	ユニバーサルデザインのまちづくり	主管部長（課）　都市整備部長（まちづくり推進課） 関係部長（課）　土木部長（道路課　水辺と緑の課）

1　施策が目指す江東区の姿

年齢・性別・国籍の違いや、障害の有無等にかかわらず誰もが公平かつ快適に生活できるまちづくりが進められています。

2　施策を実現するための取り組み

①ユニバーサルデザインに対する意識の啓発	区からユニバーサルデザインに関する情報提供をするとともに、支えを必要とする人々との交流やふれあいの場を通して区民にユニバーサルデザインの考え方の理解を深めます。また、小学校などで出前講座を実施し、手助けの行動につながる意識の定着を図ります。
②誰もが利用しやすい社会基盤整備への誘導・支援	民間の建築物等の建設・改築のときに、ユニバーサルデザインを基本とした福祉のまちづくり条例による助言・指導を的確に行うとともに、改修への支援を行います。また、整備後の施設へのＮＰＯやボランティアによるユニバーサルデザインの検証を実施します。

3－1　施策に影響を及ぼす環境変化（法改正・規制緩和・社会状況等）

5年前から現在まで	今後5年間の予測（このままだとどうなるか）
・急速な高齢化が進んでいる中、障害者・外国人・子育て世帯等、支えを必要とする区民が増加している。 ・どこでも、だれでも、自由に、使いやすくという「ユニバーサルデザイン」の考え方が様々な施策に広がってきた。 ・平成17年 7月　ユニバーサルデザイン大綱政策[国土交通省] ・平成17年 8月　ユニバーサルデザインガイドライン[東京都] ・平成18年12月　高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー新法) 施行 [国土交通省] ・平成18年12月　10年後の東京 策定 [東京都]目標の一つには～ユニバーサルデザインのまちづくり～が挙げられている。 ・平成21年 3月　東京都福祉のまちづくり条例改正[東京都]	・民間の建築物や公共施設の整備に伴い、バリアフリー・ユニバーサルデザイン化は進む。しかし、ハード面の整備が進んでも、その意味（ユニバーサルデザイン）を理解していない人が増える。

3－2　施策に関する区民要望・ニーズの変化

5年前から現在まで	今後5年間の予測（このままだとどうなるか）
・区民への更なるユニバーサルデザインのまちづくり概念の浸透が求められている。 ・誰もが安全で安心して利用できる総合的なバリアフリーの整備が求められている。	・ユニバーサルデザインの考え方に基づくまちづくり（ハード・ソフトの両方）を進める必要があり、誰もが使いやすく安心で安全な環境をつくることが強く求められる。

4　施策実現に関する指標

		単位	現状値 21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標値 26年度	指標担当課
1	この1年間で、障害者や高齢者の行動を手助けしたことがある区民の割合	%	42.6						60	まちづくり推進課
2	この1年間で、1人で出かけた際に障害物などで不便に感じた経験のある区民の割合	%	68.1						40	まちづくり推進課
3	福祉のまちづくり条例適合審査・指導件数	件	32（20年度）						40	まちづくり推進課
4										
5										

施策評価シート

5　施策における主要事業等		所管課	H21事業費予算	H21事業費決算(速報値)	H22事業費予算	H23事業費予算
1	ユニバーサルデザイン推進事業	まちづくり推進課	11,297千円	6,045千円	5,567千円	
2	だれでもトイレ整備事業	水辺と緑の課	39,237千円	37,236千円	41,647千円	
3	視覚障害者誘導用ブロック設置事業	道路課	14,315千円	10,021千円	14,315千円	
4						
5						

6　施策コストの状況					
	21年度予算	21年度決算(速報値)	22年度予算	23年度予算	
トータルコスト	91,540千円	77,314千円	89,868千円		
事業費	64,849千円	53,301千円	64,002千円		
人件費	26,691千円	24,013千円	25,866千円		

7　一次評価≪主管部長による評価≫

(1)　施策における現状と課題

◆平成21年度に作成したユニバーサルデザインに関するハンドブックを活用した出前講座を区内小学校数校で行う。区民参画によるワークショップと協力依頼した小学校で、出前講座の内容等に関して相談や意見交換を行う。◆東京都福祉のまちづくり条例による届出の審査にあたって、整備基準にあった整備の促進誘導の充実を図る。条例適合施設の増加を図る。

(2)　今後5年間の施策の取り組みの方向性

◆実体験を含めた出前講座を小学校などで行い、次世代を担う小学生を中心にユニバーサルデザインのまちづくりの理解を深めてもらう。ユニバーサルデザインのまちづくりの考え方をこどもから大人へさらに様々な人へ広げていく。◆今後も、民間建築物や公共施設、道路、公園などの整備の際には、ユニバーサルデザインの視点によるまちづくりを進めていく。

8　外部評価委員会による評価

9　二次評価≪区の最終評価≫

主 要 事 業 等 説 明 シ ー ト

施策	30

事 業 名	ユニバーサルデザイン推進事業	(主要)・その他

所 管 課 名	都市整備部　まちづくり推進課
事 業 内 容	ユニバーサルデザインに関する意識向上を図るため、これまで実施してきたユニバーサルデザインのまちづくりワークショップに加え、平成22年度からはフォーラム等を開催する。平成22年度は、ユニバーサルデザインのまちづくりハンドブックを区内の全小学校へ配付し、小学校への出前講座を開催する。
事 業 の 目 的・効 果	ユニバーサルデザインのまちづくりに興味のあるなしに関わらず、より多くの人にユニバーサルデザインのまちづくりの理解を深めてもらう。ユニバーサルデザインのまちづくりの考え方をこどもから大人へ広げていく。

事業と関連する指標		指標名	単位	現状値(21年度)	目標値(26年度)
	107	この1年間で、障害者や高齢者の行動を手助けしたことがある区民の割合	%	42.6	60
	108	この1年間で、1人で出かけた際に障害物などで不便に感じた経験のある区民の割合	%	68.1	40

事業の活動量とコスト

			単位	21年度予算	21年度決算(速報値)	22年度予算	23年度予算
活動量	①	ワークショップ開催回数	回	6	6	4	
			内訳等				
	②	小学校等での出前講座開催回数	回	0	0	3	
			内訳等				
	③	フォーラム開催回数	回	0	0	1	
			内訳等				
	④						
			内訳等				

			単位	21年度予算	21年度決算(速報値)	22年度予算	23年度予算
事業コスト	事業費(A)		千円	11,297	6,045	5,567	
	財源	国・都補助金等(a)	千円	2,686	3,766	2,449	
		利用者負担(b)	千円	0	0	0	
		一般財源(A－a－b)	千円	8,611	2,279	3,118	
	人件費(B)		千円	16,608	15,669	10,344	
	内訳	常勤	人	1.9	1.9	1.2	
			千円	16,608	15,669	10,344	
		再任用	人	0.0	0.0	0.0	
			千円	0	0	0	
		再雇用	人	0.0	0.0	0.0	
			千円	0	0	0	
	トータルコスト(A＋B)		千円	27,905	21,714	15,911	

平成22年度当初予算事業費の主な内訳			
項目	金額(千円)	項目	金額(千円)
ワークショップ運営委託	4,899		

事業の現状と課題	平成21年度に作成したハンドブックを活用した出前講座を区内小学校数校で行う。区民参画によるワークショップと協力依頼した小学校で、出前講座の内容等に関して相談や意見交換を行う。
今後の方向性	実体験を含めた出前講座を小学校などで行い、次世代を担う小学生を中心にユニバーサルデザインのまちづくりの理解を深めてもらう。ユニバーサルデザインのまちづくりの考え方をこどもから大人へさらに様々な人へ広げていく。

主 要 事 業 等 説 明 シ ー ト

施策	30

事 業 名	だれでもトイレ整備事業	(主要)・その他

所管課名	土木部　水辺と緑の課
事業内容	老朽化が進んだ公衆便所を障害者・高齢者・妊婦・乳幼児を連れている親等が利用しやすい「だれでもトイレ」として整備する。
事業の目的・効果	だれでもトイレとして整備することで、障害のある人もない人もだれもが快適に利用できるようになる。

事業と関連する指標		指標名	単位	現状値(21年度)	目標値(26年度)
	108	この1年間で、1人で出かけた際に障害物などで不便に感じた経験のある区民の割合	%	68.1	40

事業の活動量とコスト

活動量		単位	21年度予算	21年度決算(速報値)	22年度予算	23年度予算
① だれでもトイレ整備		か所	4	4	4	
		内訳等	南砂緑道・南砂三丁目・大島防災・進開橋	南砂緑道・南砂三丁目・大島防災・進開橋	南砂緑道・木場二丁目・亀戸駅前・東陽六丁目	
②						
③						
④						

事業コスト			単位	21年度予算	21年度決算(速報値)	22年度予算	23年度予算
事業費(A)			千円	39,237	37,236	41,647	
財源	国・都補助金等(a)		千円	19,600	19,600	20,800	
	利用者負担(b)		千円	0	0	0	
	一般財源(A－a－b)		千円	19,637	17,636	20,847	
人件費(B)			千円	4,371	4,124	4,310	
内訳	常勤		人	0.5	0.5	0.5	
			千円	4,371	4,124	4,310	
	再任用		人	0.0	0.0	0.0	
			千円	0	0	0	
	再雇用		人	0.0	0.0	0.0	
			千円	0	0	0	
トータルコスト(A＋B)			千円	43,608	41,360	45,957	

平成22年度当初予算事業費の主な内訳			
項目	金額(千円)	項目	金額(千円)
だれでもトイレ整備事業	41,647		

事業の現状と課題	○区内を500mメッシュに区切り、全体を９７マスとし、１マス1箇所（公共施設、民間施設含む）の「だれでもトイレ」の改修計画をたてた。計画目標である９７マスのトイレについて、２１年度事業が終了した。 ○区内の公衆便所の総数は１９２箇所あり、「だれでもトイレ」化済みは７４箇所で、整備率４０％以下である。
今後の方向性	今後は全てのトイレを対象に「だれでもトイレ」の整備を計画実施する。

主 要 事 業 等 説 明 シ ー ト

施策	30

事 業 名	視覚障害者誘導用ブロック設置事業	主要 ・ その他

所 管 課 名	土木部　道路課
事 業 内 容	歩道のうち、横断歩道が設置されている部分で、視覚障害者誘導用ブロックが設置されていない場所に新たに設置する。
事 業 の 目 的 ・ 効 果	視覚障害者に対して、横断歩道の位置を知らせるとともに、歩・車道の境を明確にして通行の安全を確保する。

事業と関連する指標	指標名	単位	現状値 (21年度)	目標値 (26年度)

事業の活動量とコスト

			単位	21年度予算	21年度決算（速報値）	22年度予算	23年度予算
活動量	①	視覚障害者誘導用ブロック設置	m	800	800	800	
			内訳等	深川地区	深川地区	城東地区	
	②						
	③						
	④						

				単位	21年度予算	21年度決算（速報値）	22年度予算	23年度予算
事業コスト	事業費(A)			千円	14,315	10,021	14,315	
	財源	国・都補助金等(a)		千円	7,140	7,140	7,140	
		利用者負担(b)		千円	0	0	0	
		一般財源(A－a－b)		千円	7,175	2,881	7,175	
	人件費(B)			千円	1,748	1,649	1,724	
	内訳	常勤		人	0.2	0.2	0.2	
				千円	1,748	1,649	1,724	
		再任用		人	0.0	0.0	0.0	
				千円	0	0	0	
		再雇用		人	0.0	0.0	0.0	
				千円	0	0	0	
	トータルコスト(A＋B)			千円	16,063	11,670	16,039	

平成22年度当初予算事業費の主な内訳			
項目	金額(千円)	項目	金額(千円)
視覚障害者誘導用ブロック設置	14,315		

事業の現状と課題	事業期間　平成１８～２２年度 平成２２年度で計画量４，０００ｍ完了予定。
今後の方向性	今後必要となった箇所は、道路改修事業や道路維持管理事業で対応する。